

製品名: SETD2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82293**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	287.6kDa

抗原情報

遺伝子名	SETD2
別名	LLS; HYPB; SET2; HIF-1; HIP-1; KMT3A; HBP231; HSPC069; p231HBP
遺伝子 ID	29072.0
SwissProt ID	Q9BYW2
免疫原	大腸菌で発現したヒト SETD2 (AA: 2054-2245) の精製された組み換え断片。

背景

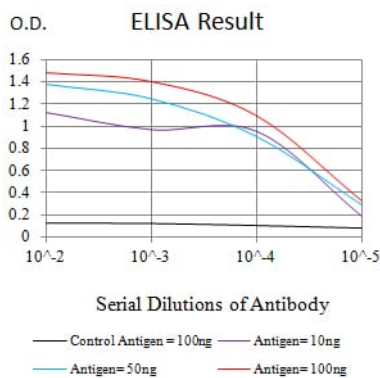
ハンチントン病 (HD) は、線条体ニューロンの喪失を特徴とする神経変性疾患であり、HD タンパク質ハンチンチンにおけるポリグ ルタミン鎖の拡大によって引き起こされます。この遺伝子は、WW モチーフを特徴とするハンチンチン相互作用タンパク質群に属す

るタンパク質をコードしています。このタンパク質はヒストン H3 のリジン 36 に特異的なヒストンメチル化酵素であり、この残基のメチル化は活性クロマチンと関連しています。また、このタンパク質は新規の転写活性化ドメインを有し、高リン酸化 RNA ポリメラーゼ II と関連することが分かっています。[RefSeq 提供、2008 年 8 月]

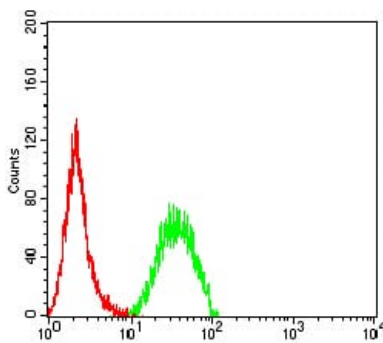
研究分野

-

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



SETD2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。